

病院長名 | 伊藤 浩一

所在地 | 〒495-8531

愛知県稲沢市祖父江町本甲拾町野7番地

交通案内 | 【お車で来院】

国道155号線、片原一色交差点を西へ2Km

【公共交通機関で来院】

名鉄尾西線 名鉄一宮駅より森上・津島方面へ15分、

津島駅より一宮方面へ15分 森上駅下車 北西へ徒歩15分

□ 病院の特徴

当院は愛知県北西部にある稲沢市の基幹病院として地域医療を担っております。災害拠点病院、二次救急病院として、急性期医療を行っている以外にも、精神科病棟や地域包括ケア病棟も有し、様々な医療を行っております。

病院のある祖父江町は全国有数の銀杏の産地で、秋には銀杏が色づき、病院の周りは美しい「黄葉」に囲まれ、風光明媚のどかな土地柄です。中規模病院の特徴としてスタッフ間の垣根は低く、忙しい中でもアットホームな雰囲気であふれています。病院旅行（海外もあります）、忘年会などスタッフとの交流も盛んです。

□ 研修の特徴

初期研修医はまず、オリエンテーションとしてすべての常勤医からの医師として必要なレクチャーを受けます。また、看護師などのメディカルスタッフと一緒に病院職員としてのオリエンテーションを受けます。実際の研修は、まず自ら経験していただくことを第一に考えております。当直を中心とした救急外来の業務では指導医の監視の下、ファーストタッチを経験していただきます。各々の習熟度と希望により、検査・手術なども2年間のうちかなり経験を積むことが可能です。また、カンファランスなどでプレゼンテーションスキルを身につけていただき、初年度より学会発表を行ってまいります。



□ 専門研修/後期研修

当院は専門研修の基幹病院ではありませんが、ほとんどの科で連携病院として受け入れを行っております。初期研修とは違い患者さんを一人で診ることが多くなりますが、各科の指導医が必ずバックアップを行います。専門研修中は、より実践的な医療に携っていただきます。



□ メッセージ

指導医（臨床研修科部長 畦元 将隆）

当院は愛知県北西部に位置する稲沢市を中心とした医療地域に位置し、名古屋からも比較的近く、便利な場所にあります。

他病院にない特徴としては、精神科病棟を51床持つ県内でもトップクラスの総合病院であるため、その環境の中でいろいろな科を研修できるということです。

また研修の特徴としては、目が回るほどの忙しさの中で研修するというよりは、一つ一つの症例を上級医の指導を受けながら丁寧に診ていくという方法になります。十分な症例数も研修できますので、興味をもたれた学生さんは是非当院に足を運んでください。



研修医（2年次 徳村 心）

当院が立地する稲沢市西部地域では田畑・イチョウの並木・植木畑が広がる景観を楽しむことができます。当院周辺は日本有数の銀杏の名所としても知られており、毎年秋が深まるころにはイチョウ黄葉まつりが開催され、多くの観光客が訪れています。

このような自然豊かな土地での地域医療を担う当院ですが、同時に精神科医療における重要な拠点でもあります。大学病院を除けば精神科病棟を有する初期研修施設は珍しく、common diseaseに多く触れながら身体科と精神科の密な連携を経験することができるのは、当院での研修の特色といえます。海南病院での研修も希望すれば可能ですので、「外科・麻酔科の研修が不足気味になる」「マイナーな科は取り扱っていない」等の中規模病院ゆえの弱点を補うことができます。

救外の業務や普段のローテは基本研修医一人に上級医一人がつくので指導に不足を感じることはありません。研修医の主体性に沿って研修内容の融通が利きやすいのも当院の研修の特徴で、自分のペースで研修をやりたい人に向いています。救外では基本研修医がひとりですべてのファーストタッチを行うため2年間終わると2次救急の症例はひとりで対応可能になります。当院の研修に少しでも興味を持った方がいらっしゃいましたらまずは見学にお越し下さい。



□ 募集要項

・採用実績	2024年度 3人 ・ 2025年度 3人
・給与/月額	1年次 450,000円以上 2年次 480,000円以上 (※手当等含む)
・当直回数/月	4回程度
・当直料/回	当直手当は実稼働分を超過勤務手当として支給
・応募連絡先	担当者 総務課 大海 ゆかり 電話番号 0587-97-2131 Eメール somuka-syomu@inazawa.jaaikosei.or.jp